

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日

2024年8月7日

事業名	美術館講座等開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課			款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わつまちづくり		事業期間	開始年度	H14	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		終了年度		事業分類	イベント等開催事業	
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	美術館において、展覧会以外に、講座等開催し、美術館や美術に親しむ機会を提供する。
------	--

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民や講座受講者に講座への参加をきっかけに、郷土や美術への理解を深めてもらう。また、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらう	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参加者に対する市民の割合	%	90	90	90	90	90
		満足を感じた人の割合 (アンケート回答より)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	陶芸教室 9/2 参加者 16名	活動指標	単位	R3	R4	R5
		講座等開催数	回	0	1	1
		事業費計	千円	63	96	46
		一般財源	千円	21	56	22
		特定財源（国・県・他）	千円	42	40	24
		（うち受益者負担）	千円	42	40	24

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	郷土や美術への理解を深めてもらい、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		参加者に対する市民の割合	%	55	80	63	値が大きいほど良い	効果が下がった
		満足を感じた人の割合（アンケート回答より）	%	100.0	100.0	93.8	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※1 0万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	2指標			
	指標全体	効果が下がった			
費用	費用は下がった				
	費用の増減無し				
	費用が増加した				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

参加者に対する市民の割合は下がったが、定員15名を超えた参加があり、美術鑑賞の楽しみ方や美術館の魅力を知ってもらえた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。
------	-----------------------------

事業名	美術館展覧会開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	半年度繰り返し			
	課	文化推進課			款	10	新規or継続	継続事業		
政策体系	係	吉澤記念美術館	美術館展覧会開催事業	予算科目	項	4	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	231			名称	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2			新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H14	実施方法	直営
	政策	3			歴史・文化を守り育てるまちづくり		終了年度		事業分類	イベント等開催事業
施策	1	文化芸術活動の推進								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	芸術に触れる機会の充実を図り、美術への関心を深めてもらうため、所蔵企画展や特別企画展を開催する。また、地域交流センターでの自主事業を実施する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民や美術愛好者に展覧会を観覧して満足してもらい、美術への関心を深めてもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		「見て満足した」と答えた入場者（アンケート回答より）	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		美術館企画展観覧者数	人	3,000	5,000	6,000	6,500	7,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・企画展の開催 「春夏ライフ」 「ヒーローズ&ヒロインズ」 「秋冬ロマン」 「石川寒巖」 「のんびり南画さんぽ」	活動指標	単位	R3	R4	R5
		所蔵企画展の開催数	回	2	3	4
		特別企画展の開催数	回	3	2	1
		事業費計	千円	3,783	3,522	4,070
		一般財源	千円	3,783	3,522	4,070
		特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円					

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	市民や美術愛好者に展覧会を観覧して満足してもらい、美術への関心を深めてもらった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		「見て満足した」と答えた入場者（アンケート回答より）	%	100.0	99.1	98.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
		美術館企画展観覧者数	人	2,985	4,745	3,150	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	2指標			
	指標全体	効果が下がった	費用は下がった		
			費用の増減無し		
			費用が増加した		○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は菜蟲譜の展示がなかったため、令和4年度より観覧者数が減ったと考えられる。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

年間のうち一定期間、菜蟲譜を展示する期間を設け、観覧者数の増を図る。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	子どもふれあい文化芸術事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	文化推進課			款	2	新規or継続	継続事業
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2311	名称	根拠法令、条例等	目	17	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	—	事業開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		事業終了年度	—	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	文化芸術活動の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	子どもたちの豊かな心を育むため、アウトリーチ事業（市内小中学校への訪問事業）を行い、本物の音楽や美術等に直接触れる機会を提供する。市の事業にあつては、指導者を地元在住や地元出身のアーティストに依頼することで、子どもたちの文化芸術に対する思いや、地域との関わりがより身近に感じられるようになる。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	児童、生徒たちが、優れた文化芸術に触れ体験する機会を提供することで、子どもたちの文化環境をより充実したものにす。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
事業に参加した児童・生徒数	人	1,300	1,300	1,300	1,400	1,400
事業に参加した児童・生徒の割合	%	—	—	50	50	55

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	延べ12校14回実施 あそ野学園前期課程(6月)、佐野小(6月)、葛生義務前期課程(6月)、植野小(9月)、界小(9月)、葛生義務前期課程(11月)、天明小(11月)、旗川小(11月)、吉水小(11月)、田沼小(12月)、栃本小(12月)、赤見小(12月)、吾妻小(12月)、界小(2月)
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
事業実施数	回	8	15	14
事業費計	千円	300	500	500
一般財源	千円	300	490	500
特定財源(国・県・他)	千円		10	
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	事業開始時は、2校程度であった実施数も年度を重ねるごとに増加傾向にあり、コロナが緩和された令和4年度以降は、実施校が10校を超える水準で維持されている。また、学校間でも本事業の情報共有が行われている様子が見受けられ、事業の認知度が向上している。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
事業に参加した児童・生徒数	人	1,354	4,078	3,727	値が大きいほど良い	効果が下がった
事業に参加した児童・生徒の割合	%	16.7	51.1	47.6	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 2指標 指標全体 効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

これまで、学校からの報告書受領後、講師へは謝礼金の支払いのみで終了としていたが、講座実施に対するフィードバックを行い講師の高いモチベーション維持につなげる必要がある。また、事業実施の情報をあらかじめ各学校へ提供し、検討期間を十分に設ける必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
・講師へのフィードバック(子どもたちからの感想の送付)を行う。 ・校長会での説明を行う。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	全国大会等出場者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	文化推進課				全国大会等出場者支援事業	款	2	新規or継続	継続事業
	係	文化推進係					項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	目	17	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H14	実施方法	直営	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	—	事業分類	現金等給付事業	
	施策	1	文化芸術活動の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	本市の芸術文化活動の活性化を図るため、小・中・高等学校等の文化活動を奨励する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国大会等出場者の負担を軽減し、激励会によって文化活動を行う児童、生徒たちの意識向上につなげることで、次世代の文化芸術活動の活発化を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
文化活動に参加・鑑賞している人の割合	%	57.7	53.5	55.0	56.5	58.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・文化関係部活動状況調査及び奨励費の案内（4月～5月） ・奨励費交付5件、壮途金贈呈式4件実施（合同実施含む） 佐野東高校吹奏楽部（団体）、佐野高校囲碁・将棋部（個人）、佐野高校科学部（団体）、佐野松桜高校情報制御科（個人）、佐野高校囲碁・将棋部（個人）
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
市内文化活動数	団体	121	98	102
奨励費申請数	件	1	4	5
事業費計	千円	5	80	80
一般財源	千円	5	80	80
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	申請のある部活動の種目が多種にわたるようになり、文化活動で活躍する児童生徒の増加と事業の認知度の向上が着実に図られていると言える。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
文化活動に参加・鑑賞している人の割合	%	44.2	43.1	47.9	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し		※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果が上がった	

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

市長と児童・学生との面会時に、円滑な進行が図れない場面があったため、特に市長公室で行う面会については、進行内容について再度検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	日程調整等、学校との連絡を遅滞なく実施する。
------	------------------------

事業名	文化会館サクスステージ開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度のみ			
	課	文化推進課			款	2	新規or継続	新規事業		
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	231	名称	目	18	義務or任意	任意の事業			
	基本目標	2			新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業	開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	3			歴史・文化を守り育てるまちづくり	期間	終了年度	R5	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1			文化芸術活動の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	文化会館が令和6年度から大規模改修による長期休館に入ることから、これまで文化会館の利用促進及び文化芸術の振興に愛着をもって文化会館を支えて頂いた利用者へ感謝の意を込めて、ステージイベントを実施する。
------	---

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	サクスステージによる文化芸術の提供。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		新BS日本のうた入場者数	人			1,000		
		ダ・カーポコンサート入場者数	人			1,000		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	9月21日 新BS日本のうた開催 来場者：741人 12月3日 ダ・カーポ コンサート開催 来場者：1,111人	活動指標	単位	R3	R4	R5
		サクスステージ開催回数	回			2
		事業費計	千円	0	0	450
		一般財源	千円			450
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	コロナ禍があけたことや文化会館休館前の影響があるが、文化施設の利用件数は増加傾向にある。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		新BS日本のうた入場者数	人			741	値が大きいほど良い	効果が上がった
		ダ・カーポコンサート入場者数	人			1,111	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用が下がった	費用が増加した
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

サクスステージにたくさんの人が鑑賞してくれたが、問題なく実施できた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

単年度開催事業につき、令和5年度で終了。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月8日

事業名	文化施設指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度	
	課	文化推進課			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	目	18	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市文化施設条例	事業期間	開始年度	H22	実施方法	一部委託
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	佐野市文化施設条例施行規則	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	文化・芸術や各種催しなど、市民や各種団体が快適かつ安全に文化施設（文化会館及び葛生あくとプラザ）を利用できるよう、指定管理者により施設の運営と維持管理を行う。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民や各種団体が快適かつ安全に文化施設を利用できるようにする。
-------------------------	---------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
文化会館利用件数	件	1,150	1,155	1,160	0	0
あくとプラザ利用件数	件	445	450	455	500	505
文化施設利用者の満足度	%	72.0	86.0	86.5	87.0	87.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> 事業運営（自主事業）文化会館14件、あくとプラザ3件 維持管理（修繕・植栽）文化会館23件、あくとプラザ28件 市 <ul style="list-style-type: none"> 維持管理（修繕・植栽・備品購入）13件
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
自主事業開催数	回	14	14	17
修繕・植栽管理実施回数	回	54	46	51
事業費計	千円	113,621	115,189	115,699
一般財源	千円	113,621	115,189	114,599
特定財源（国・県・他）	千円			1,100
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	コロナ禍があけたことや文化会館休館前の影響があるが、文化施設の利用件数は増加傾向にある。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
文化会館利用件数	件	633	751	1,003	値が大きいのほど良い	効果が上がった
あくとプラザ利用件数	件	156	247	222	値が大きいのほど良い	効果が下がった
文化施設利用者の満足度	%	84.4	79.6	80.1	値が大きいのほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

費用	効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	費用は下がった	○		
	費用の増減無し			
費用が増加した				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度は、コロナ禍の影響がほぼ無くなった。令和6年度からは、文化会館が休館になり、あくとプラザ1館での運営になるため、事業運営・維持管理について指定管理者と今まで以上に緊密な関係を築く。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 	取組説明
	令和6・7年度は、あくとプラザ1館のみでの事業運営になる。初めて、あくとプラザで行われる事業や利用者もいるため、事業運営には細心の注意を払う。

事業名	佐野市文化協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課				佐野市文化協会支援事業	款	2	新規or継続	継続事業
	係	文化推進係				佐野市文化協会支援事業	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	17	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市補助金等交付規則		開始年度	H17	実施方法	一部委託	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業	
	施策	1	文化芸術活動の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市文化協会に運営費補助として補助金を交付する。
------	---------------------------

(2) 目的

文化協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
文化協会の正会員数	人	1,280	1,244	1,250	1,300	1,350
市民文化祭への参加・入場者数	人	2,963	5,317	7,182	7,500	8,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

（市の活動）
・文化協会に補助金を支出するための手続きを行う。
・市民文化祭の共催（前期・後期）
（佐野市文化協会の活動）
総会、市民文化祭（前期・後期）、各部門の活動推進、佐野桜の配布、市長への文化提言、機関紙「さの文化」発行、さの文化の祭典

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
市民文化祭実施部門数	部門	15	19	18
実施事業及び会議等実施数	回	26	33	38
事業費計	千円	2,474	2,174	2,474
一般財源	千円	2,474	2,174	2,474
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

文化協会の正会員数は10年以上減少傾向にある。市民文化祭への参加・入場者数はコロナ禍を経て徐々に増加している。

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
文化協会の正会員数	人	1,280	1,244	1,250	値が大きいほど良い	効果が上がった
市民文化祭への参加・入場者数	人	2,963	5,317	7,182	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
			費用の増減無し		
			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

①令和5年度は文化会館リニューアル工事を迎えるにあたり、総合文化祭として「さの文化の祭典」を実施し、文化協会の財政的負担が多くなった。
②市職員と文化協会事務局の事務分担が曖昧化し市職員の業務量が増えていた。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input checked="" type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①令和6年度の支出を抑える工夫（会場の選定や連絡手段の変更など）を行う。 ②市職員と文化協会事務局の事務分担を検討し適正化を図る。
--	---

事業名	全国美術館会議参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	吉澤記念美術館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H15	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	全国美術館会議に係る経費
------	--------------

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国美術館会議に加入し、美術館の今後の動向や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 全国美術館会議に負担金の支出 (全国美術館会議の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催、その成果や各種情報を会員に提供する。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議出席日数	回	0	0	0
		会議等出席者数(のべ人数)	人	0	0	0
		機関誌収集数	部	2	2	6
		事業費計	千円	30	30	30
		一般財源	千円	30	30	30
		特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	美術館の今後の動向や最新情報を得られた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果が変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない	費用	費用が下がった	費用が増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館の今後の動向や最新情報を得られており、全国美術館会議に参画することは必要なことである。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	現状を維持する。
------	----------

事業名	栃木県博物館協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課			款	10	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	吉澤記念美術館	根拠法令、条例等	事業期間	項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	231			名称	目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2			新たな流れの創造による賑わうまちづくり	開始年度	H15	実施方法	直営
	政策	3			歴史・文化を守り育てるまちづくり	終了年度		事業分類	参画事業
施策	1	文化芸術活動の推進	博物館法						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県博物館協会参画に係る経費
------	-----------------

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			効果指標	100	100	100	100
栃木県博物館協会に加入し、美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県博物館協会に負担金の支出 (栃木県博物館協会の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催 機関誌の発行 会員への各種情報提供 H27から栃木県内「M割」(ミュージアム共通割引制度)の実施が始まった。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議出席日数	回	1	2	2
		会議等出席者数(のべ人数)	人	1	2	2
		機関誌収集数	部	1	1	1
		事業費計	千円	5	5	5
		一般財源	千円	5	5	5
		特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
			効果指標	100	100	100	値が大きいほど良い
美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得られた。							

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数		0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		1指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果は変わらない				
			費用	費用が下がった		
				費用の増減無し	○	
				費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館・博物館の県内の傾向について類似施設の状況や最新情報を得られており、栃木県博物館協会に参画することは必要なことである。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状を維持する。

事業名	日本博物館協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	文化推進課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	吉澤記念美術館				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H15	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	日本博物館協会参画に係る経費
------	----------------

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	日本博物館協会に加入することにより、美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得る。また、教育普及活動や展示方法についての技術の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 日本博物館協会に負担金の支出 (日本博物館協会の活動) 総会・講演会・学芸員研修会等の開催 各種研究・調査結果を会員に情報提供	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議出席日数	回	0	0	0
		会議等出席者数(のべ人数)	人	0	0	0
		機関誌収集数	部	12	12	12
		事業費計	千円	25	25	25
		一般財源	千円	25	25	25
		特定財源(国・県・他)	千円			
(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得られた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		会議参画が有意義であると感じている美術館関係職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数	1指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない	費用	費用が下がった	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館・博物館の全国的な傾向について類似施設の状況や最新情報を得られており、日本博物館協会に参画することは必要なことである。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	現状を維持する。
------	----------

事業名	美術館運営協議会運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し			
	課	文化推進課				款	10	新規or継続	継続事業		
政策体系	係	吉澤記念美術館		美術館運営協議会運営事業	予算科目	項	4	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	231	名称			根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			博物館法 佐野市立美術館条例	事業期間	開始年度	H14	実施方法	直営
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり				終了年度		事業分類	審議会等運営事業	
施策	1	文化芸術活動の推進									

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	美術館の運営に関する意見や要望などを聞く。 年1回開催
------	--------------------------------

(2) 目的

(3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	美術館運営協議会を開催し、美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂く。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		意見・助言数	件	5	5	5	5	5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	2/16開催、出席者7名	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議開催回数	回	0	1	1
		事業費計	千円	0	46	46
		一般財源	千円	0	46	46
特定財源（国・県・他）	千円					
(うち受益者負担)	千円					

(3) 活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	美術館運営協議会を開催し、美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂いた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		意見・助言数	件	0	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
指標全体	効果は変わらない						

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術館を円滑かつ効果的に運営できるように、委員から貴重な意見や助言を頂けており、今後も必要な機会である。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
現状を維持する。